

# 部活動への生徒の期待感について —中学、サッカー部に着目して—

花房 僚 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)  
指導教員 新井 博

キーワード：中学生 部活動 サッカー

## 1. 緒言

文部科学省は「中学生がスポーツ活動を行うことは、人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となる」と述べている。またその中で運動部活動の意義として「豊かな人間性の育成」を挙げており、サッカーの特性に多く共通点がみられる。また、「JFA2005年宣言とJFAの理念(日本サッカー協会, 2012)」に、サッカー協会が生涯スポーツの重要性に貢献したいという理念も存在する。

そこで、サッカーが教育の目的達成に多大な可能性があると考え、学校の運動部のサッカー部に着目する。子どもの部活動に対する思いを明確にし、支援者を対象に子どもの気持ちをどこまで考慮し、部活動をどのように捉え、支援すべきかという参考資料を作成することを目的とする。

## 2. 研究方法

A中学校サッカー部の40名を対象として、サッカーをするきっかけ、現状の12項目、サッカーをして得たこと、期待することの20項目のアンケート調査を実施する。

## 3. 結果と考察

子どもがサッカーに期待することは第一に勝利と個人技術の向上、第二と第三はそれほど差はなく、人間関係を築くことと人間性の成長であった。このことから支援者が指導法を工夫し、子どもたちに今の楽しみ・やりがいを感じ

てもらうことが重要だとわかった。

## 4. まとめ

本研究では、子ども達に「楽しみ」「勝利」「技術向上」の期待があることがわかった。また、人間性の成長と生涯にわたってサッカーをしたいと望む子どもは予想以上に多く、支援者の指導によってそうなったと思われる。しかしながら、「自信がない」「計画性がない」「コミュニケーション能力不足」という問題点もわかった。このことから、学校の支援体制を整えることと保護者・地域と連携し、子どもの気持ちを尊重しながら教育的目的を成し遂げることが重要である。

## 引用・参考文献

文部科学省(2013)

[www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/.../05/1335529\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/.../05/1335529_1.pdf): 運動部活動の在り方に関する調査研究報告～一人、一人の生徒が輝く運動部活動を目指して～

公益財団法人日本サッカー協会(2012) JFAカリキュラム検討プロジェクト: サッカー指導者教本—JFA公認C級コーチ—pp. 5、20-21.